



学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度

第3号

2025・4・17

やがては実る！日々の努力・・・

～基礎を反復することの意義～

日々の宿題について、保護者の皆様からご意見やご質問をいただくことがあります。現地校の課題と並行して、平日に補習校の宿題をこなすことは、お子さんにとって決して容易なことではなく、その背後には保護者の皆様のご尽力もあることと私たち教職員も十分承知しております。

その上で改めてご理解いただきたいのは、本校は補習授業校という特殊な条件のもと、日本国内と同等の教育水準を目指す学校であるという点です。限られた授業時間の中では、日本の学校でたっぴりと時間をかけて日々行われる反復・定着の学習を、どうしても家庭学習において補っていただく必要があります。

とりわけ漢字や基礎的な計算力などは、短時間で習得できるものではなく、繰り返しの練習を通してこそ確かな力として定着します。現在の宿題内容は必要最低限の反復学習として設定しているものです。

かつて、私（校長）は中学校の国語科の授業で、漢字と音読については何度も何度も反復することを生徒に課し、成果を上げたことを静かに自負しております。漢字は頭で覚えるのではなく、「手に覚えさせる！」と指導していました。語彙や音読の土台の上で、初めて日本語による抽象思考が可能になります。

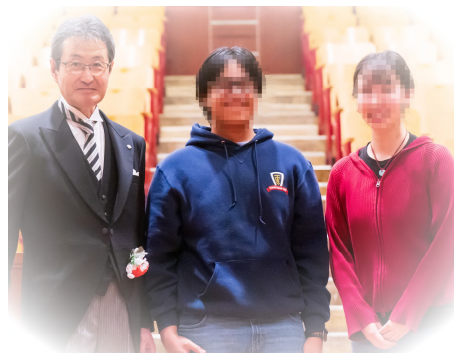
基礎的な知識・技能の土台がしっかりと築かれてこそ、それらを用いて課題を解決するための思考力・判断力・表現力が養われます。これらの力は、変化の激しい現代社会において、情報を的確に読み取り、自ら解決策を見出す力「課題解決力」へと発展します。

本校の教育方針にご理解を賜り、今後ともご家庭でのあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。なお、子どもたち一人ひとりの学習状況や反応には違いがございますので、個別に配慮が必要な場合は、どうぞ遠慮なく担任までご相談ください。



入学式を支えた現地校生2名

～補習校ボランティア紹介（その1）～



4月6日（日）入学式の日、校舎をお借りしている現地校の生徒2名が早朝から来てくれて、マイクや照明の調整を一生懸命に行ってくれました。いわば入学式を支えた「縁の下の力持ち」です。
Thank you so much!

本校の学校運営は、保護者をはじめ、日本からのUBC交換留学生、Co-op留学生など、ボランティアの皆さんの日常的なお力添えに支えられています。

今後、皆さんの活動の様子を学校だよりで紹介します。